

23OCT 2017 KNI & NEC 共同記者会見

# 医療進化論

— 変化の向こうに幸せが見える —

医療法人社団KNI

理事長 北原茂実

# 2030年、日本はどう変わるか

## 1. 日本の特異的な人口推移

江戸末期に3千万人強、2010年1億3千万人弱、  
そして2030年には1億1千400万人に

## 2. 先進国のGDPは主に人口によって決定される

## 3. 2030年、高齢化率は3分の1、都市部では 全所帯の4割が高齢者の一人暮らしに

## 4. 2030年、必要とされる医療者は1千万人になり 医療者もそれを支える現役世代も貧困化する

## 5. 3000年、生存している日本人は2千人に！

# 日本、そして医療の進むべき道

1. 歴史と人口推移を軸としたメガトレンドの理解が日本復活の鍵
2. 今一番必要なのは社会の成熟
3. IT・AIと、どう共存していくのか
4. 必要な国家としての選択と集中
5. 医学・医療の真の価値に対する理解とそれをツールとした社会改革

# Blue Zone とは何か



# 私達の事業の2本の柱

1. 人間と自然、科学技術の調和を目指す  
ヒーリングファシリティーの建設と  
**デジタルホスピタルの開発**
2. トータル・ライフ・サポート事業  
**デジタルリビングウィルとサテライト**



# **Healing Facilities & Digital Hospital**



ブルーゾーンとは何か

**Healing Facilities**

総合生活産業としての医療  
自然のもつ治癒力





SPA

人と自然と技術の調和



Digital Hospital

# Total Life Support System & Digital Living Will



# トータルライフ サポートシステム



# トータルライフサポートシステム

1. トータルライフサポートシステムとは  
病院がワンストップで医療も含む全てのライフ  
サポートを提供する会員制のシステム
2. 市民の安全を守る究極のプラットフォーム
3. デジタルリビングウィルにて会員登録を行い、  
指定の信託銀行口座を作ることで入会できる



# デジタル・リビングWill

どう生きて、どう死にたいか。「AIが守る市民の人生」



- 受けたい医療に関する承諾、終末療に対する意思表明
- トータルライフサポートへの契約の意思表明
- 人の手を介さないインバリアント分析による未来シミュレートと指導
- 緊急時の自動支払い機能  
(信託銀行・生命保険との連携)

全てのステークホルダーにメリット

## 独居高齢者

緊急時に迅速かつ適切な医療が受けられる

## 市民

未来をシミュレートすることで安心が得られる

## 行政

スタッフの業務を大幅削減

## 病院

身寄りがない方や将来、国民皆保険が崩壊した後も医療費請求ができる

# IT・AIに期待すること

## 1. Digital Hospital & Healing Facilities

診断・治療のアシスト、 患者・家族への情報提供

生産性の向上(治療計画、 予後予測と追跡)

患者管制 、 セキュリティーシステム

患者サービスの向上

療養環境制御(スヌーズレン)

## 2. Digital Living Will & Total Life Support

すべてのニーズに応えるためのプラットフォーム

健康と生活に関する情報提供と事故予測

市民が自ら設計し、 望んだ人生を生きることを支援

# 2030年、世界はどう変わるか

1. 現在73億の人口が85億人に
2. 都市化率は50%から70%に増え、  
一人暮らしの人は世帯数で今より40%増加する
3. ミドルクラスは18億人から49億人に増加し  
内アジアに住む人の割合は28%から67%に！
4. 世界的に国家間の経済格差は縮小するが、  
国内で見れば歪みと貧富の差は増大する
5. そしてアジアでは真の繁栄を十分に謳歌する前に  
日本同様、国の衰退を招く少子高齢化が始まる

# NECへの期待

1. 言わば、自動運転車(＝病院)を開発する

完成車メーカーの役割を果たされること

2. 社会の歪みによって生まれた問題を

ITの力を借りて解決しようとするのではなく、

ITが真価を發揮出来る様な理想的な社会

の建設を目指して進まれること